

イタチ(ニホンイタチ) (学名: *Mustela itatsi*)

[イタチ科イタチ属]



(2014年3月25日 撮影)

本州、四国、九州の河川や湖沼などの水辺域から森林に生息しています。

体色は、茶褐色から黄褐色まで個体差がありますが、顔は眼の周りから鼻先まで濃い褐色で、あご下から首にかけて少し白っぽく見えるのが特徴です。

また、指の間には水掻きが付いており、泳ぎが得意で、魚やザリガニ、サワガニなどの甲殻類などを捕まえて食べます。その他、鳥類、ノネズミ類、カエル、昆虫などの小型動物を捕食します。

行動時間は特に決まっておらず、昼夜問わずに活動します。冬場も冬眠はしません。雌は一定のナワバリを持ちますが、オスは何頭かの雌のナワバリに重なる様な行動圏を持ちます。春に繁殖行動を行い、巣穴で平均3~5頭の仔を出産します。

只見町では、町内全域に生息しており、人家周辺でも見られます。特に餌に限られる冬場に目撃例が多く、イタチによる家畜(ニワトリ)や池の魚(鯉など)を狙う被害も、しばしば報告されています。また、屋内に保管されている魚用の餌が食い荒らされた痕跡が見つかるなど、きちんと戸締りしていても、その細長い体を使って色々な所に侵入しているようです。

昔は、狩猟の対象となっていたため、罠を使った捕獲が行われていました。毛皮はテンより安かったそうですが、数はテンの3倍近く獲れたといえます。

企画展示

「季節とともに生きるー只見の野鳥とその生態ー」

期 間：2015年1月17日(土)~4月19日(日)

ブナセンター講座

「森をつくる鳥たちー鳥と果実の共進化ー」

日 時：3月7日(土) 13:30~15:00

講師：上田 恵介 氏(立教大学理学部生命理学科教授)

自然観察会

「上田先生と歩く！冬のブナ林」

日 時：3月8日(日) 10:00~12:00

冬のブナ林には、どんな鳥が生息しているのでしょうか？野鳥の観察も行います！

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください